



# 9月1日は防災の日

今から89年前（大正12年）の9月1日に関東大震災が発生し、とても多くの方が被害を受けました。その惨事を忘れないよう、9月1日を「防災の日」と定め、また、8月30日～9月5日までを「防災週間」と定められました。

地震などの災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。災害による被害を避けることは困難ですが、事前の対策で被害を最小限に抑えることは可能です。

この機会にぜひ、災害に対する備え、知識を身につけ、自分の身は自分で守れるようにしましょう。

〈消防本部予防・保安グループ ☎4233255〉

## 地震への対応と備え

- ▽テーブルなどの下にもぐり、落下物から身を守りましょう
- ▽揺れが納まったらガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とし、火の元を確かめましょう



## 火災への対応と備え

- ▽「火事だ！」と大声で叫びましょう
- ▽避難するときは煙を吸わない

- ▽非常持出品をまとめておき、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう
- ▽地域の避難場所を家族で確認しておきましょう
- ※テレビなどで緊急地震速報が発令されてから、実際に揺れがくるまでは数秒から数十秒しかありません。慌てずに、まず身の安全を守る行動を取りましょう。



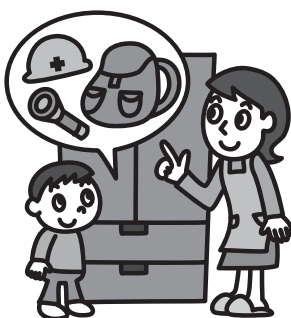
- ▽いざというときのために、浴槽に水をためておきましょう
- ▽いざというときのために、浴槽に水をためておきましょう

## 地震・火事への

## 対策は万全ですか？

### 非常持出品

- ▽貴重品類（印鑑、預金通帳、小銭など）
- ▽ラジオ・懐中電灯（予備電池も忘れずに）
- ▽非常食（乾パン、缶詰、ミネラルウォーターなど）
- ▽応急医薬品（傷薬、胃腸薬、包帯、目薬など。常備薬も忘れずに）
- ▽その他の生活用品（上着・下着・靴下などの衣類、軍手、タオル、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ）



ユ、雨具、ライターなど）  
※これらの非常持出品は家族構成を考え、必要な分だけ（2日～3日分）用意して、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。

## 合同非常招集訓練 サイレン吹鳴

歌志内市消防署・消防団では、9月1日の「防災の日」にあわせ、合同非常招集訓練（放水訓練）を9月3日（月）、「救護施設親愛の家」（文珠第三）で実施します。

なお、この日は18時00分にサイレンを鳴らしますので、火災とお間違いのないようお知らせします。



# 普通救命講習会を開催します

消防本部では、人工呼吸や胸骨圧迫（心臓マッサージ）、ケガをしたときの止血法や、近年普及しているAED（自動体外式除細動器）の使用手法などの応急手当を身につける普通救命講習会を次のとおり開催します。

緊急時にたいせつな生命を守るためにも、ぜひこの機会

に基本的な応急手当の技術を学びましょう。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

▼とき 9月9日（日）9時30分～12時30分

▼ところ 消防本部大会議室

▼講習内容 心肺蘇生法（AED取扱要領含む）、止血法、異物除去

▼対象者 中学生以上

▼参加料 無料（受講者には講習修了証を交付します）

▼定員 30名

▼申し込み 9月7日（金）までに警防・救急グループ（消防本部 ☎423255）へ。

※当日は、実技を行いますので、動きやすい服装で参加ください。

# 救急の日講習会開催

## 講演及び実技指導 特別講演

9月9日は「救急の日」です。この「救急の日」を含む9月9日から同15日までを「救急医療週間」と定め、各地で応急手当の講習会を中心とした、救急に関するさまざまな行事が行われています。

空知医師会では、地域医療活動の一環として、市民を対象とした救急講演会を次のとおり開催します。

▼とき 9月14日（金）17時30分

▼ところ 砂川パークホテル

▼内容

①講演及び実技指導

- ・講演 「救急蘇生法」
- ・講師 砂川市立病院麻酔科 医長 那須智樹氏
- ・実技指導 「蘇生法練習用 人形を使用した実技指導」
- ・指導者 歌志内市消防本部 職員ほか

②特別講演

- ・演題 「ドクターヘリによる救命の連鎖 ～圏域を超える

えた病院連携～」

- ・講師 旭川赤十字病院 副院長 住田臣造氏
- ▼参加料 無料
- ▼共催 空知医師会、北海道滝川保健所、砂川地区広域消防組合消防本部
- ・歌志内市消防本部
- ▼問い合わせ 警防・救急グループ（消防本部 ☎423255）

# 大雨や台風などの災害に備えて

- 台風が接近する前
  - ▽避難場所、避難場所までの経路や危険な場所を家族で確認しておく。
  - ▽屋外の植木など飛散しそうなものは、屋内に片付けておく。
  - ▽大雨による浸水や土砂災害の危険があるので、低い土地や斜面のそばにいる方は早めに避難を検討する。
  - ▽高潮による浸水や高波が岸壁を越えてくるなどの危険があるので、海岸付近にいる方は早めの避難を検討する。
- 台風が接近して大雨や暴風の影響を受け始めたとき
  - ▽なるべく外出は避ける。
  - ▽避難指示や避難勧告などのお知らせに注意する。
  - ▽自ら危険を感じたら屋内の安全な場所に移動または避難する。
  - ▽アンテナなどの補修のために屋根に上ることは絶対にしない。
- 増水した川や高波が打ち寄せる海岸や防波堤には絶対に近づかない。
- 台風の影響が弱まったとき
  - ▽雨が弱まったも、川の増水や土砂災害の危険があるので、川や崖には近づかない。
- 防災気象情報の入手先
  - インターネット 警報や注意報、台風情報などは、気象庁が発表している、気象庁ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/saporo/>）で閲覧できます。
  - テレビ・ラジオ 警報や注意報の発表状況は、テレビやラジオを通じて知ることができます。また最近では、それぞれのテレビ局が作成しているデータ放送で入手することもできます。（データ放送の詳細については、各テレビ局に問い合わせください。）
- 問い合わせ 札幌管区気象台 天気相談所（☎011561150170）

# Welcome!

## 新・外国語指導助手紹介

### ジョン・ワルトン・ミラー三世さん

この度、本市で8人目となる外国語指導助手として着任した、ジョン・ワルトン・ミラー三世さんをご紹介します。

ミラーさんは、アメリカ合衆国ヴァージニア州出身で、本年大学を卒業した22歳の男性です。

ミラーさんに歌志内の印象や、今後の計画について聞いて見ました。

①簡単な自己紹介をお願いします。

「皆さんこんにちは、ジョン・ワルトン・ミラー三世です。ジェイと呼んでください。」

②歌志内の印象は？

「自然に囲まれていて、好印象を持ちました。私は山も好きなので、歌志内はとても美しいと思います。市民の皆さんも、たいへん親しみやすいです。」

③子どもたちに何を教えたいですか？

「もちろん英語を教えたいですが、それ以外にも、アメリカの文化につ

いて伝えたいです。例えば、ハロウィンやクリスマス。イースターなどのイベントも教えたいです。」

④日本での生活は初めてだと思いますが、どんなことをしてみたいですか？

「日本語を上達したいです。また、私は旅行が好きなので、北海道一周や、日本一周をしてみたいです。」

⑤最後に、市民に対して一言お願いします。



▲新外国語指導助手のジョン・ワルトン・ミラー三世さん

## 歌志内市長選挙

### 立候補予定者説明会を開催

任期満了に伴う歌志内市長選挙の日程が、10月14日告示、10月21日投票日と決まりました(くわしくは、10月号広報うたしないでお知らせします)。

この選挙の立候補手続きなどについての説明会を、次のとおり開催します。当日は、「立候補届」など各種届け出用紙を交付しますので、関係

者は必ず出席してください。

▼とき 9月26日(水) 13時30分  
から

▼ところ 市役所4階第1委員会室

▼参加範囲 立候補予定者及びその

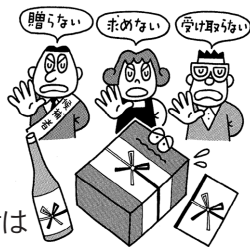
関係者

※くわしくは、歌志内市選挙管理委員会(☎4253212)へお問い合わせください。

## みんなで守ろう 「三ない運動」

政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

- 政治家は有権者に寄附を **贈らない!**
- 有権者は政治家に寄附を **求めない!**
- 政治家から有権者への寄附は **受け取らない!**



《次のような行為も寄附に該当します》

- 病気見舞い ●お祭りへの寄附や差し入れ ●地域の運動会等への飲食物の差し入れ ●秘書等が代理で出席する場合の結婚祝や葬式の香典 ●葬式の花輪、供花 ●落成式、開店祝の花輪 ●町内会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ ●入学祝や卒業祝 ●お中元やお歳暮

# ご協力ありがとうございました

7月27日に開幕したロンドンオリンピックに、日本陸上界において48年ぶりとなる十種競技の種目に、右代啓祐選手が出場されました。

右代選手の父啓視さんが歌志内出身で、地元にいる同級生などで「右代啓祐選手を応援する歌志内の会」を発足し、応援募金を募りました。

集まった応援募金は、7月8日に右代選手が来道した際に、会の代表者が手渡し、激励しました。

ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。



▲右代啓祐選手(中央)と会の皆さん

こんにちは!



新中村歯科診療所長です!

田倉暢哉さん (46歳)



平成8年に北海道大学歯学部を卒業し、札幌市の歯科診療所を皮切りに、この度8月16日より中村歯科診療所長に就任しました田倉です。

平成15年に歌志内市歯科診療所で歯科医師も勤めていた経験もあり、また、わたし自身も赤平市出身なので、この土地のことはじゅうぶん把握しているつもりです。

歌志内市は、高齢の方が多いので、その方にあった治療方法や、特に「入れ歯」にも重点をおきたいと思っています。

歯のことなどで気になったときは、早めに受診をしてください。

# 安全・安心どさんと運動に参加

昨年、道内における刑法犯認知件数は、約5万件で、平成15年から9年連続で減少しました。

しかし、減少率が低下している一方で、自動車盗や車上ねらいなど、わたしたちの身近なところで発生している犯罪が増加しており、決して安心できる状況にはありません。

そこで、道では安全で安心して暮らせる犯罪のない地域づくりを進めていくため、「安全・安心どさんこ運動」を推進しています。

この運動は、防犯に限らず、交通安全や防災、教育など幅広い分野に関わる機関・団体及び道民の皆さんの自主的な活動を通して、人や地域、社会の絆を強め、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会を築いていくとする道民運動です。

▼推進主体 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議

▼重点取り組み

- ①子どもの安全を見守る運動
- ②あいさつ、みまもり、たすけあい運動

「あいさつ」は、最も身近で、誰

もが実践できる運動です。「あいさつ」は、人と人との絆や信頼関係を強め、犯罪を寄せつけない地域づくりに効果を発揮します。

■実践しよう「どさんこオアシス」

- 「ど」…どういたしまして
- 「さ」…さようなら
- 「ん」…こんにちは
- 「こ」…こんにちは
- 「オ」…おはよう、おやすみ
- 「ア」…ありがとう
- 「シ」…しつれいします
- 「ス」…すみません

本市においても、8月10日、市民による「青色回転灯防犯パトロール」が行われ、街頭啓発を行い、青色回転灯を点灯した自家用車で市内をパトロールしました。



▲市内パトロールに出発する参加者の皆さん